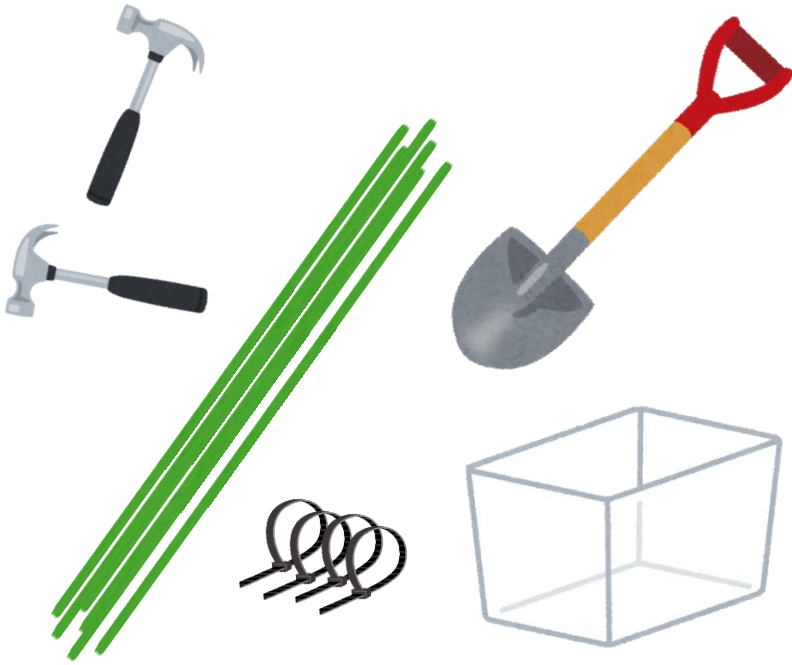


アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



〔準備するもの〕

- ・防獣ネット
- ・イボ竹
- ・結束バンド
- ・マルチ押さえ
- ・ハンマー
- ・衣装ケース
- ・バケツ
- ・シャベル

〔柵と落とし穴〕

防獣ネットとイボ竹を使って柵を作り、池への侵入を防ぎます。さらに、衣装ケースの落とし穴でヒキガエルを捕獲します。



次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



①現地の確認

柵と落とし穴を作る場所を確認します。水辺に近づくと、後で衣装ケースが浮いてくることがあります。



②柵の作成

防獣ネットにイボ竹を通し、結束バンドで固定して防除柵を作成します。

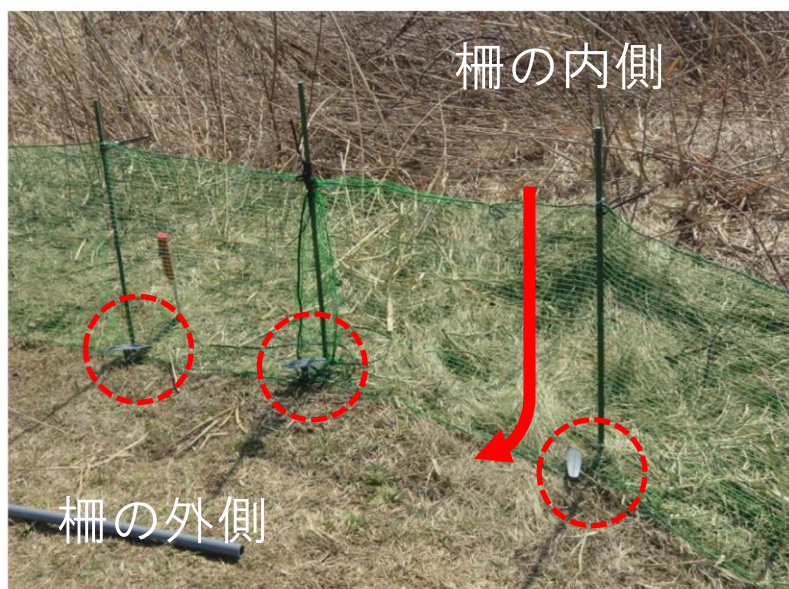


次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



③柵の作成

防獣ネットは柵の外側に向けて折り(←)、接地面をマルチ押さえで固定します(○)。



④柵の作成

防獣ネットを固定しているマルチ押さえの上から、土を被せて隙間からの侵入を防ぎます(○)。



次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



次ページへ続く

⑤落とし穴

柵の外側に穴を掘り衣装ケースを設置し、落とし穴を作ります。周りの柵は、落とし穴を作った後に設置します。

⑥穴周辺の柵

落とし穴の周辺は棒が立てにくいので、太めの木の棒などを使って柵を繋ぎます。



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



⑦注意看板

石狩浜に近い名無沼には多くの観光客が来ます。そこで、防除柵付近に連絡先を記載した注意看板を設置しました。



⑧柵の見回り

落とし穴のヒキガエルを回収するため、1～3日程度に一度、柵の見回りを実施します。



次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



⑨卵の除去

金魚網やタモ網を使って、池で確認された卵紐の除去作業も実施しました。



⑩卵の除去

集団で産卵するため多くの卵紐(らんちゅう)が回収されますが、すべてを回収することは難しいです。

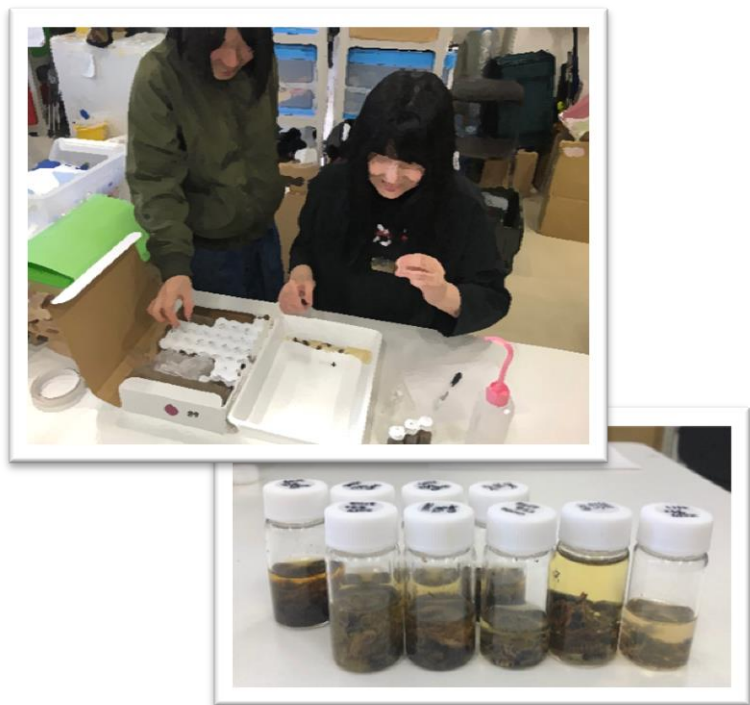


次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



⑪捕獲個体の処理

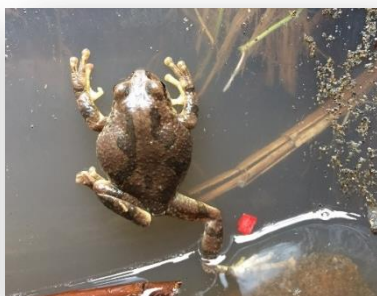
捕食影響調査のため胃内容物を採取し、袋に入れ冷凍による安楽死処分（ -18°C 程度）を行いました。最後は市町村の一般廃棄物として処分しました。

↑ 胃内容物の分析作業の様子(酪農学園大学 野生動物保護管理学的研究室にて)

防除柵と落とし穴の設置で多くのヒキガエルを捕獲することができますが、他の生き物が混獲される場合があるので注意が必要です(混獲された個体はもといた場所に戻します)。



エゾアカガエル



ニホンアマガエル



ニホンカナヘビ



次ページへ続く



アズマヒキガエルの防除事例

北海道外来カエル対策ネットワーク ～石狩市名無沼～



⑫成果報告会

どうやってヒキガエルを捕獲し、どれくらい捕獲できたかを地域の方に報告しました。活動の実施には、地域の方々に関心を持っていただくことが重要です。

おわりに

本事業は、北海道外来カエル対策ネットワークが北洋銀行のほっく一基金(2017年度)を活用するとともに、石狩市と酪農学園大学野生動物保護管理学研究室との共同研究「外来種アズマヒキガエルの効果的防除手法の検討に関する研究」、公益信託富士フィルム・グリーンファンドの2017年度助成事業「石狩海岸における希少アリ類・海浜植物・外来カエル類の相互関係に関する研究(研究代表者:吉田剛司)」の一部として実施しました。

